

2026 年 4 月 8 日

各 位

会 社 名 Grantomato株式会社  
(コード番号 7137 TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 南條 浩  
問合せ先 取締役管理本部長 遠藤誠也  
電話番号 0248-94-2014  
(URL <https://www.grantomato.jp/>)

### 通期業績予想の修正（下方修正）に関するお知らせ

当社は、2026 年 4 月 8 日開催の取締役会において、2025 年 10 月 9 日に公表した 2026 年 8 月期の通期業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2026 年 8 月期通期業績予想数値の修正（2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	20,583	637	546	362	175.56 円
今回修正予想(B)	20,808	△225	△348	△384	△186.11 円
増減額(B-A)	225	△863	△894	△747	—
増減率(%)	1.1	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2025 年 8 月期)	17,735	710	679	456	226.28 円

#### 2. 修正の理由

当中間会計期間では、当社の農産流通部門において取り扱う米相場が、需給環境の変化により当初想定を下回る水準で下落しており、販売単価の下落および在庫評価への影響が生じております。この結果、当該部門の売上高および利益が当初計画を下回る見込みとなりました。

一方で、主力のストア販売部門およびFDC・インターネット販売部門と米の小売部門は堅調に推移しておりますが、米相場の極端な下落の影響を吸収するには至らず、通期業績は前回発表予想を下回る見込みとなったため、業績予想を修正いたします。

今後の見通しについては、供給過剰により米相場が弱含みで推移しており、今後の需給環境と、令和 8 年産米の流通が本格化するまでは変動する可能性があります。

このような環境下、当社は農産流通部門における販売チャンネルの多角化を行い、リスク管理を進めるとともに、ストア販売部門およびFDC・インターネット販売部門の成長により、収益の増大を図ってまいります。

引き続き、市況の先行きには不透明感があるものの、全社としては中長期的な成長基盤の強化に努めてまいります。

なお、今後の需給環境の変化による流通と価格の動向等、将来にわたって経営に与える影響は変動が予想されるため、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上